

水環境館指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	公益財団法人 北九州生活科学センター	玄海グリーン&アドベンチャー 共同企業体
1 指定管理者としての適性について	<p>(1)施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本理念「水と環境の大切さを学び、持続可能な未来を創造できる空間とします。自然との共生の学びを通じて、次世代に豊かな環境と健康な生活を提供することを目指します。」 ・ 基本方針①教育と啓発の推進、②持続可能な運営、③地域社会との連携、④平等・安心・安全な施設、⑤次世代への継承 <p>(2)安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昭和 45 年設立の当センターは、水・環境における専門知識と経験を持った豊富な人材を擁し、公益財団法人として安定した財産基盤を有しています。 <p>(3)実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設立から54年、公益財団法人認定から12年、当センターの施設管理・運営を安定的に行っております。また北九州市より衛生害虫相談センターの事業を請負っており、市民とのコミュニケーションや相談対応において10年にわたる実績を持ちます。河川環境学習などの各種講師派遣事業を行った経験を持ちます。 	<p>(1)施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 変革、環境政策、市民ニーズを理解し、水環境館の設置目的に沿って施設の運営を進めていきます。 ・ 河川審議会が答申した「川に学ぶ社会」を実現していくため、共同企業体の5つの理念に基づき、指定管理業務テーマ「川に学ぶ社会」を推進し、川と街と人がつながる施設を目指します。 ・ 指定管理業務を推進する5つの基本方針を掲げます ①川に学ぶ社会を推進するため、学んで体験できる施設、②川とまちをつなぎ、街の賑わいを推進、③効率的、効果的なマネジメントの推進、④地域・他施設・団体との連携強化、⑤平等・安全・安心の施設づくり <p>(2)安定的な人的基盤や財政基盤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同企業体は、水環境館をマネジメントする有為な人材を有しています。また施設運営を支えるNPO、企業、教育団体、全国組織等とのネットワークを構築しています。 ・ 代表企業は、毎年安定した経営利益を計上しており、財政基盤は良好安定しています。 <p>(3)実績や経験など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 共同企業体は平成 19 年度からの北九州市立玄海青年の家を皮切りに、現在、かぐめよし少年自然の家（平成 29 年度）、もじ少年自然の家（平成 25 年度）の3施設の指定管理者業務を受託し、令和元年度から河川環境学習施設「水環境館」の管理運営をスタートしました。 ・ 共同企業体は類似施設の指定管理業務、委託業務の経験を多数有しています。

審査項目	公益財団法人 北九州生活科学センター	玄海グリーン&アドベンチャー 共同企業体
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 管理運営計画の適確性</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【有効性】に関する取組み</p>	<p>(1)施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ①教育プログラムの策定、②生態水槽の展示、③水辺空間の利用、④微生物の観察、⑤水の科学学習、⑥衛生害虫学習コーナーの設置、⑦名物の開発、⑧市の施策への協力、⑨来館者増加への取組み、⑩情報発信による集客、⑪環境学習の提供、⑫更なる賑わいづくりの創出、⑬事故や災害時の対応 <p>(2)水辺空間の利用促進に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案事業：国土交通省、九州整備局とのライフジャケット体験会 ・ 自主事業：カヌー事業の継続、市や周辺施設と連携した新事業への取組み <p>(3)利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケートの実施により利用者満足度 98%以上を目指します。 ・ 利用者ニーズに応える施設運営を行います。 ・ 専門的な学習プログラムの実施 	<p>(1)施設の設置目的の達成に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 管理運営に関わる明確な目標設定とその適正な改善を行います。そのため、15 の管理運営方針と実施策（アクションプラン）を掲げます。 ・ 紫川河口部の水辺空間のハブ機能を十二分に発揮して、周辺の商業施設、観光施設と都心の賑わいづくりや川の環境の啓発活動を推進します。 ・ 利用者が気楽に立ち寄れて、川の生き物や河川空間に癒される施設としてホスピタリティを高めます。 <p>(2)水辺空間の利用促進に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案事業・自主事業は「川と水の音楽会・紫川カヌー体験・水辺の生き物調査」等 24 事業を提案し、水環境館を利用するお客様に魅力的なプログラムを提供します。 ・ 各事業は、①河川環境を学ぶ、②川から派生した芸術・文化、③生きる力を育てる 3つの柱に安全で魅力的なプログラムを行います。 ・ 紫川周辺にぎわい創出プロジェクトの実行委員として、周遊拠点である水環境館を恒常的に機能させていきます。 ・ 令和 11 年度利用者目標、延人 210,000 人を目指し、施設管理手法を駆使して目標を達成します。 ・ ホームページや SNS, 紙媒体の広報能力を強化して閑散期の入館者増加を目指します。 ・ 利用者増加にむけての総合的な広報活動の強化、利用者の利便性の向上を目指し、北九州市内や近隣の市町村の小中学校への利用促進を強化します。 ・ 広報宣伝力の強化のため、SNS を利用しリアルタイムな情報発信を行い、利用者への有益な施設利用に関する情報提供を推進します。 <p>(3)利用者の満足度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の声を施設管理に生かすため、アンケートや職員の聞き取り調査を行い、PDCA サイクルを用い速やかに施設管理の改善につなげます。 ・ 利用者からの苦情に対し、真摯な態度で対応すると同時に、その苦情に対し速やかに謝罪・改善を実施します。そのため苦情解決マニュアルを策定します。 ・ 水環境館の利用者サービス向上を図るため、提案及び自主事業の開発、施設整備、安全面に企業体の資材や車両の提供、また予算化による用具購入を行い、魅力的な施設を目指します。

審査項目	公益財団法人 北九州生活科学センター	玄海グリーン&アドベンチャー 共同企業体
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 管理運営計画の適確性</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">【適正性】に関する取組み</p>	<p>(7)平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法令遵守：法律や条例を遵守し各団体の規定に基づき適正に取り扱います。 ・公共施設は開かれた施設であるという認識をスタッフに徹底いたします ・危機管理マニュアルを作成し、事故を防止すると共に事故発生時への対応を行います。災害時には利用者を安全な場所へ誘導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上のため、計画的、定期的に研修を行います。全職員が身につけるべき研修目標、取得すべき資格を明確にして職員研修を実施します。 ・地域との連携については、特に紫川流域への環境教育活動を行います。そのため、地域の住民活動へ施設職員を派遣します。 ・第2期指定管理期間中も、紫川水辺活用推進協議会、かわまちづくりの会、NPO法人の方と魅力的な施設づくりへ参画して頂きます。 <p>(7)平等利用、安全対策、危機管理体制など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市個人情報保護条例を遵守した個人情報保護に対する具体的な取り扱いを行います。個人情報、職員研修を実施し取り扱いマニュアルに沿って管理します。 ・利用者利用団体へ公平で平等なサービス提供に向けた二つの基本方針を掲げ、人権尊重のための職員研修を継続します。 ・障害者基本計画、障害者差別解消法を理解し、不当な差別扱いの禁止、合理的配慮の提供を遵守し徹底します。 ・福岡県暴力団排除条例等の関連法令に基づき、公の施設から、暴力団の利益となる利用を排除、また利用拒否を徹底します。 ・危機管理については日常業務の安全管理をはじめ、プログラム提供時、施設整備、職員トレーニング、食中毒、病気対策等に対応するマニュアルを遵守し、安全大会や日々の会議、また職員研修を実施、確実にリスクマネジメントを実施します。 ・事故発生時の緊急対応マニュアルを作成し、利用者の安全を優先的に確保すると同時に、リスク低減対策、回避行動を迅速に行います。また事故の原因を究明し、事故の再発防止に努めます。 ・北九州市地域防災計画に基づき、防災時のための対応策は職員研修を徹底し、非常時にスムーズな対応ができるように訓練します。また迅速に対応できるようマニュアルの整備を常に改訂します。 ・紫川河口域は水面を使用したスポーツやレジャーが多く行われています。水難事故が発生しないよう紫川河口域水面利用規則作成して利用調整を図っています。トラブルが予見される場合は、市や福岡県と協力して安全を確保します。

審査項目		公益財団法人 北九州生活科学センター	玄海グリーン&アドベンチャー 共同企業体
2 管理運営計画の 適確性	【適正性】 に関する取組み	<p>(8) 地域貢献・社会貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの雇用年齢に上限を設けず、柔軟な職務内容や勤務時間の設定により高齢者が働ける環境を整備します ・福祉施設等で作られている商品の販売スペースを設置する等、高齢者や障害者の就労を支援します。 ・地域の活性化に貢献し、地域交流に取り組みます。 	<p>(8) 地域貢献・社会貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯現役社会、障害者が年齢、生涯にかかわらず働き続ける労働環境を目指します。 ・河川環境学習施設の事業を通じて、また施設管理業務を通じて SDGs 達成を目指します。 ・5年間の指定管理業務を通じて、地域活動に積極的に参加し、地域の皆様との信頼関係を構築してきました。時期指定管理機関でも、地域の皆様に信頼され喜んでいただける水環境館を目指します。 ・水環境館のソフトを施設内にとどめることなく、市内の小学校や市民センター、関連施設に、講師や自然体験活動（カヌー等）を派遣、提供し、協働事業として本市の河川環境向上を推進してまいります。 ・北九州市内在住の方、特に施設近郊のかたを積極的に雇用することで、市内の雇用拡大を推進します。

審査項目		公益財団法人 北九州生活科学センター	玄海グリーン&アドベンチャー 共同企業体
指定管理料 【提案額】	R7年度	28,071千円	27,600千円
	R8年度	27,881千円	27,538千円
	R9年度	27,831千円	27,702千円
	R10年度	27,726千円	27,696千円
	R11年度	27,622千円	27,955千円